

2-Lesson10

2-Lesson 6

What time do you get up?

- 単元目標**
- ・積極的に自分の1日を紹介したり、友達の1日を聞き取ったりしようとする。
 - ・生活を表す表現や、1日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。
 - ・世界には時差があることに気付き、世界の様子に興味をもつ。
- 単元評価規準**
- ・相手に伝わるように工夫して自分の1日を紹介している。
 - ・1日の生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。
 - ・世界には時差があることや、世界はつながっていることに気付いている。

表現 I get up at seven. What time do you get up?

get up, go to school/bed

単元計画（5時間）

時	目標と主な活動	評価		
		コ	慣	気
1	動作や時刻の言い方を知る。 【P 1】「ナンバーゲーム」1～60の数を言う。 ○「何時か当てよう。」指導者が両腕で示す時刻を答える。 【L 1】「時計に針や数字を書こう。」時刻を聞き取って、時計に数字や針を書き込む。 ○「ジェスチャーゲーム」指導者のする動作を言い当てる。 【P 2】「おはじきゲーム」動作を表す表現を聞いてゲームをする。 【C】“What time do you get up?”			本時は、原則として評価結果は記録しないが、目標に向けての指導はする。
2	動作や時刻の言い方に慣れ親しむとともに、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現を知る。 【P 1】「ナンバーゲーム」1～60の数を言う。 ○「メモリーゲーム」動作を表す表現を聞いて、ゲームをする。 【L 2】「()に時刻を書いて、さくらとあなたの一日を比べよう。」音声教材を聞いて、時刻を()に書く。 【A 1】「先生の一日を予想して、インタビューしよう。」指導者の起床、登校、就寝の時刻を予想して書き、実際の時刻を尋ねて回答を書く。 【C】“What time do you get up?”		○	・動作や時刻を聞いている。＜行動観察・誌面点検・振り返りカード点検＞ ・動作や時刻を聞いている。＜行動観察・誌面点検・振り返りカード点検＞
3	生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 【P 1】「ナンバーゲーム」1～60の数を言う。 【C】“What time do you get up?” 【L 3】「世界の時刻を四角に書こう。」日本が午前8時のときに、他の国は何時かを聞きとり、絵の下に時刻を書き込む。 ○「ステレオゲーム」		○	・生活を表す表現や時刻を聞いている。＜行動観察・誌面点検・振り返りカード点検＞ ・生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞
4	生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 【C】“What time do you get up?” ○「チェンゲーム」 ○「友達の生活の時刻を知ろう。」教室を自由に動いて、友達に生活の時刻を尋ね合って記録し発表する。 ○「ニューヨークの生活と比べよう。」		○	・生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。＜行動観察・ワークシート点検・振り返りカード点検＞ ・生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。＜行動観察・ワークシート点検・振り返りカード点検＞
5	時差があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫して自分の生活を紹介しようとする。 【C】“What time do you get up?” 【A 2】日課表に自分の生活時刻を書き込み、ペアになって、生活の時刻を尋ね合い、お気に入りの日課と時刻を教え合う。 ○「自分の1日と外国の時刻をつなげよう。」	○	○	・相手に伝わるように工夫して自分の1日を紹介している。＜行動観察・振り返りカード点検＞ ・相手に伝わるように工夫して自分の1日を紹介している。＜行動観察・振り返りカード点検＞ ・世界には時差があることや、世界はつながっていることに気付いている。＜行動観察・振り返りカード分析＞

ワークシート13～17 Let's Write 1

ねらい: アルファベットの文字
の認識・単語の認識を
深める



本活動では、アルファベットの小文字をかためて書く(文字と文字との間にスペースを置かず、詰めて書く)活動、また、単語の中の1文字をなぞる活動を通して、アルファベットの文字の認識をより深めるとともに、単語への認識を深めることをねらいとしています。これは、単語のつづりを理解させよう、覚えさせようというのではなく、アルファベットの文字と文字の間にスペースを置かず、詰めて書くことに慣れさせたり、アルファベットの文字が複数集まって意味のある単語になることを視覚的に認識したりすることをねらいとしています。児童が文字を書くことに飽きないように、毎回少しずつ丁寧に書くこととしよう。

また、各アルファベットに示されている単語のうち左端のものは、ワークシート5でイラストとともに示されている単語です。

《活動例① 文字を詰めて書く》

- ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。

《活動例② 文字をなぞって単語を完成しよう》

- ・単語の中のグレーの部分でアルファベットカードを使って、個人、ペア、グループで以下のような活動をする。活動によっては、カードが2セット必要である。
- カードゲーム例: ポインティングゲーム、ラッキーカードゲーム、メモリーゲーム(Hi, friends! 指導編参照)、アルファベット順並べ、カルタ取り、神経衰弱、Go fishなど

アルファベットの文字の認識・単語の認識

Let's Write 1

例にならって、アルファベットの小文字を書こう。また、単語の中のアルファベットをなぞろう。

aaa	aaa			



apple



ant

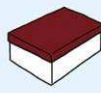


cat

bbb	bbb			



bear



box



bag

ccc	ccc			



cat



cap



car

ddd	ddd			



dog



donut



desk

eee	eee			



elephant



egg



pen



アルファベットの文字の認識・単語の認識

fff fff



fan



fox

5

five

ggg ggg



goat



gorilla



dog

hhh hhh



hat



horse



hot dog

iii iii



ink



pig



piano

jjj jjj



jam



jet



juice



アルファベットの文字の認識・単語の認識

kkk kkk



king



koala

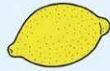


kangaroo

lll lll



lion



lemon



lunch

mmm mmm



milk



monkey



mat

nnn nnn



net



notebook



nine

ooo ooo



orange



octopus



omelet



アルファベットの文字の認識・単語の認識

ppp ppp



pen



pig



piano

qqq qqq



queen



quiz



question

rrr rrr



racket



rabbit



ruler

sss sss



sun



star



spider

ttt ttt

10

ten



tomato



tennis



アルファベットの文字の認識・単語の認識

uuu	uuu		



up



umbrella

vvv	vvv		



vest



violin



volleyball

www	www		



watch



wolf



window

xxx	xxx		



box

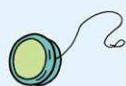


fox

6

six

yyy	yyy		



yo-yo



yacht



yogurt

zzz	zzz		



zebra

0

zero



2-Lesson10 What time do you get up? 1/5 時間

目 標 動作や時刻の言い方を知る。

準 備 教師用絵カード (動作), デジタル教材, (振り返りカード),
おはじき

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus シングル Food 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Play 1】 p. 22 ・ナンバーゲームをする。1～60 を全員で言う。音声教材で、言い方を確認し、再度全員で言う。 ・1人ずつ1～60の数を言っていく。 ・自分の数字が3の倍数の場合は、言わずに、手をたたくなどする。	・指導者も一緒に、1～60を言う。音声教材で、誌面 p. 22 の周りの数字を見ながら1～60 の数の言い方を確認し、再度指導者も一緒に言う。 ・1人ずつ順に1～60の数字を1つずつ言わせる。 ・慣れてきたら、自分の数字が3の倍数であれば、手をたたくなどさせる。	デジタル教材
○「何時か当てよう。」 ・指導者が両腕で示す時刻を答える。	・両腕を時計の針に見立てて時刻を示し What time is it? と尋ねる。 ・時刻は、「1～12 時」で表せるものにする。慣れてきたら、「30 分」を入れる。	
【Let's Listen 1】 p. 22 ・時刻を聞き取って、時計に数字や針を書き込む。	・時刻の音声を聞かせ誌 p. 22 の時計に時刻を書き込ませる。 ・時刻を尋ねるやり取りで答え合わせをする。	デジタル教材
○ジェスチャーゲームをする。 (指導書 Hi, friends! 2 p. 30 参照) ・動作の言い方を知る。 ・指導者がするジェスチャーを見て、動作を英語で言って当てる。	・まず、生活の様子を動作で表わしながら、動作の言い方を紹介する。 ・生活の様子を動作であらわし、それが何か尋ねる。	教師用絵カード (動作)
【Let's Play 2】 p. 22 ・誌面 p. 22 の動作の絵から5つ選び、おはじきを置く。音声教材 (指導者) が言う動作の絵におはじきを置いていたら取る。早くおはじきがなくなったら勝ちとなる。	・音声教材で、生活を表す表現を聞かせる。	教師用絵カード (動作) おはじき デジタル教材
【Let's Chant】 "What time do you get up?" p. 24 ・音声教材を聞きながら言う。	・音声を聞かせながら一緒に言う。	デジタル教材
○「文字を詰めて書こう。」 ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。 ○「文字をなぞって単語を完成しよう」 ・単語の中のグレー部分を丁寧になぞる。	・児童が文字を書くことに飽きないように、毎回少しずつ丁寧に書かせる。 ※アルファベットカードを使って、カード並べやカルタ取りなどもできる。	ワークシート 5 枚 ⑦-1/2/3/4/5

2-Lesson10	What time do you get up? 2/5時間
目 標	動作や時刻の言い方に慣れ親しむとともに、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現を知る。
準 備	教師用絵カード（動作）、デジタル教材、（振り返りカード）、 巻末児童用絵カード（動作）

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Food 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Play 1】 p.22 ・ナンバードゲームをする。1～60 を全員で言う。 ・1人ずつ1～60の数を言っていく。 ・自分の数字が3や5の倍数の場合は、言わずに、手をたたくなどする。	・誌面 p. 22 の周りの数字を見ながら1～60の数を一緒に言う。 ・1人ずつ順に1～60の数字を1つずつ言わせる。 ・慣れてきたら、自分の数字が3や5の倍数であれば、手をたたくなどさせる。	デジタル教材
○メモリーゲームをする。 (指導書 Hi, friends! 2 p. 30 参照) ・各グループで、巻末児童用絵カード1組を用意する。	・各グループに、巻末児童用絵カード1組を用意させ、ゲームをする。 ・誌面 p. 22 の動作の絵から選んで、I get up at 6:00. などと生活の表現を4～8文言う。 ・各グループが巻末児童用絵カードを並べ終えるのを確認してから、生活の表現をみんなで言って答えを確認する。	教師用絵カード（動作） 巻末児童用絵カード（動作）
【Let's Listen 2】 p. 23 ・音声教材を聞いて、さくらの生活時刻を（ ）に書く。	・誌面の絵のさくらの動作を確認する。 ・音声教材を聞かせ、（ ）に起床・登校・就寝の時刻を書かせる。 ・What time do you get up/go to school/go to bed? などと尋ねて各自の生活と比較させる。 ※評価	デジタル教材
【Activity 1】 p. 23 ・先生の起床、登校、就寝の時刻を予想して表に書き、実際の時刻を尋ねてその回答を表に書く。	・起床・登校・就寝の時刻の尋ね方を音声教材で確認する。 ・予想を書かせた後、児童の What time do you ～? の問いに答える。 ・Let's listen 2 のさくらの時刻と比較する。 ・他の日課についても紹介する。 ※評価	デジタル教材
【Let's Chant】 "What time do you get up?" p. 24 ・音声教材を聞きながら言う。	・音声教材を聞かせながら一緒に言う。	デジタル教材
○「文字を詰めて書こう。」 ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。 ○「文字をなぞって単語を完成しよう」 ・単語の中のグレー部分を丁寧になぞる。	・児童が文字を書くことに飽きないよう、毎回少しずつ丁寧に書かせる。 ※アルファベットカードを使って、カード並べやカルタ取りなどもできる。	ワークシート5枚 ⑦-1/2/3/4/5

2-Lesson10 What time do you get up? 3/5時間
目 標 生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。
準 備 教師用絵カード（動作）、デジタル教材、（振り返りカード）

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Food 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Chant】“What time do you get up?” p. 24 ・音声教材を聞きながら言う。	・音声教材を聞かせながら一緒に言う。 ・動作や時刻を替えて言わせる。	デジタル教材
○チェーンゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 33 参照) ・グループで1列になり、ゲームをする。	・代表児童とデモンストレーションなどをして、ゲームのやり方を理解させる。 ・What time do you get up/go to bed?, I get up/go to bed at ～. とやり取りさせ、列の最後尾の児童に、At seven, six, seven, seven. I get up/go to bed at ～. などと、全員の答えも含めて自分の答えを言わせる。	
○「友だちの生活の時刻を知ろう。」 ・教室を自由に動いて、3人の友達に生活の時刻を尋ね合ってワークシートに記録する。 ・自分が聞き取った中で早起きの友達などを発表し合う。	・起床・夕食・朝食についてその時刻を尋ね合いワークシートに記入させる。 ・慣れてきたら、起床・夕食・朝食以外の時刻も尋ね合わせたりする。 ・尋ね合う人数は、実態や時間に合わせて調節する。 ※評価	ワークシート⑥-1 (インタビューシート1)
○「ニューヨークの生活と比べよう。」 ・指導者に1日の生活の時刻を尋ね、答えをワークシートの「日本」の欄に書く。 ・さらに同じ時のニューヨークの時刻を書く。また、その時刻に指導者がニューヨークにいたら何をしているか考えて発表し合う。	・ワークシートに描かれている動作の時刻を尋ねさせ、自分の1日の生活について答える。 ・日本とニューヨークの時差を確認する。実際はニューヨークの時刻が14時間遅れているが、計算するときは10時間足すとよいことに気付かせ、指導者の1日の生活時刻と同じ時のニューヨークの時刻を「ニューヨーク」の欄に書かせる。 ・時刻についてのやり取りをしながら答え合わせをする。 ・同じ時刻に、もし指導者がニューヨークにいたら何をしているか考えさせる。 ※評価	ワークシート⑥-2 (インタビューシート2)
○「文字を詰めて書こう。」 ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。 ○「文字をなぞって単語を完成しよう」 ・単語の中のグレー部分を丁寧になぞる。	・児童が文字を書くことに飽きないよう、毎回少しずつ丁寧に書かせる。 ※アルファベットカードを使って、カード並べやカルタ取りなどもできる。	ワークシート5枚 ⑦-1/2/3/4/5

2-Lesson10 What time do you get up? 4/5時間 目 標 生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。 準 備 ワークシート⑥ー1・2 (インタビューシート1・2), デジタル教材, (振り返りカード)
--

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Food 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Play 1】 p.22 ・ナンバーゲームをする。1～60 を全員で言う。 ・1人ずつ1～60の数を言っていく。 ・自分の数字が3や5の倍数の場合は、言わずに、手をたたくなどする。	・誌, p. 22 の周りの数字を見ながら1～60の数を一緒に言う。 ・1人ずつ順に1～60の数字を1つずつ言わせる。 ・慣れてきたら、自分の数字が3や5の倍数であれば、手をたたくなどさせる。	
【Let's Chant】 “What time do you get up?” p. 24 ・音声教材を聞きながら言う。	・音声教材を聞かせながら一緒に言う。 ・動作や時刻を替えて言わせる。	デジタル教材
【Let's Listen 3】 p. 24, 25 ・日本 (東京), 中国 (北京), アメリカ (ニューヨーク), オーストラリア (シドニー), ロシア (モスクワ), イギリス (ロンドン), ブラジル (サンパウロ) について、日本が午前8時のときに、何時か聞き取り、都市と絵を線で結び、時刻を書き込む。	・地図上の都市がどこか確認させる。番号順に音声教材を聞かせて、都市と絵を線で結ばせ、時刻を書き込ませる。 ・音声教材の時刻は、東京が午前8時のときの時刻であることを確認する。 ・実態に応じて、番号順ではなく順不同に聞かせる。 ・誌面 p. 24, 25 の地図上の日付変更線や、世界の時差について簡単に触れ、世界には時差があることについての気づきを促す。 ※評価①	デジタル教材
○ステレオゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照) ・誰が何時に起床・登校・就寝するか聞き取る。 ・指導者と一緒に、代表児童に What time do you get up/go to school/go to bed? と尋ねる。	・起床・登校・就寝の動作のどれを扱うかを確認してから、代表児童に What time do you get up/go to school/go to bed? で時刻を尋ねる。 ・慣れてきたら、ほかの児童にも一緒に尋ねさせる。 ※評価②	教師用絵カード (動作)
○「文字を詰めて書こう。」 ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。 ○「文字をなぞって単語を完成しよう」 ・単語の中のグレー部分を丁寧になぞる。	・児童が文字を書くことに飽きないよう、毎回少しずつ丁寧に書かせる。 ※アルファベットカードを使って、カード並べやカルタ取りなどもできる。	ワークシート 5 枚 ⑦-1/2/3/4/5

2-Lesson 6	What time do you get up? 5/5時間
目 標 時差があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫して自分の生活を紹介しようとする。	
準 備 ワークシート⑦（一日の生活紹介シート）、デジタル教材、（振り返りカード）	

児童の活動	指導者の活動	準備
・挨拶をする。 ・アルファベットの読み方と音に慣れる。(Hi, friends! Plus ジングル Food 編)	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 ・児童の実態に合わせて、バージョン・速度を選択する。	・デジタル教材 Hi, friends! Plus
【Let's Chant】“What time do you get up?” p.24 ・音声教材を聞きながら言う。	・音声を聞かせながら一緒に言う。 ・慣れてきたら動作や時刻を替えて言うてみる。	デジタル教材
【Activity 2】 p. 25 ・誌面の日課表に自分の生活時刻を書き込む。 ・空欄には、get up と、go to school, go to bed のほかに、お気に入りの日課を1つ、文字や絵でかき込む。 ・ペアなどになって起床、登校、就寝の時刻を尋ね合い、お気に入りの日課と時刻を教える。	・ペアを替えたり、グループで聞き合ったりするなど、実態に応じた形態で行う。 ・「お気に入りの日課」は英語で表現することが難しい場合は、日本語で紹介させる。 ・自分の日課の時刻に合わせて海外都市の時刻を書かせることで、時差を身近に感じさせるようにする。 ※評価②	
○「自分の1日と外国の時刻をつなげよう。」 ・ワークシートに、起床と就寝のほかに2つ、お気に入りの日課や、自分で選んだ日課を空欄に絵や文字でかく。 ・日課について時刻をすべて書く。 ・「日本の（ ）」には、自分たちの住んでいるところの地名を書く。 ・誌面 p. 24, 25 の見開き世界地図を参考に、自分が選んだ海外の国名と都市名を、ワークシート「～（ ）」に書き、その地の時刻も書いて自分の日課とリンクさせる。 ・生活表を見せながら、グループの中で自分の1日について紹介し、グループの代表が、前で発表する。	・「お気に入りの日課」は英語で言うことが難しい場合は、日本語で紹介させる。 ・可能なら、海外の地名を隠して時差からどこかを推測して当てさせる。 ※評価①②	ワークシート⑦（一日の生活紹介シート）
○「文字を詰めて書こう。」 ・各アルファベットの小文字を、例にならって三つまとめて書く。 ○「文字をなぞって単語を完成しよう」 ・単語の中のグレー部分を丁寧になぞる。	・児童が文字を書くことに飽きないよう、毎回少しずつ丁寧に書かせる。 ※アルファベットカードを使って、カード並べやカルタ取りなどもできる。	ワークシート5枚 ⑦-1/2/3/4/5